

議会だより



テープカットちゃんとできたよ✌
(開園したさくら保育園 古川町杉崎)

議会構成・委員会構成	2・3
3月定例会	4・5
委員長報告	6・7
予算委員会Q & A	8・9
一般質問	9～14
討論・議案賛否表	15
市民の声・編集後記	16

議会構成
決まる

議長に内海良郎氏を選出 副議長には葛谷寛徳氏



葛谷 寛徳 副議長



内海 良郎 議長

就任のあいさつ

平成二十五年第一回定例会で議会の役員改選が行われ、議長に内海良郎氏、副議長に葛谷寛徳氏を選出しました。総務と産業の二つの常任委員会や議会運営委員会の改選も行われ、委員が選任された後、委員長や副委員長を互選し、新しい構成が決まりました。又、新しく広報広聴と議員定数等の二つの特別委員会と政治倫理審査会を設置し、それぞれ委員と正副委員長を決めました。各種委員会の構成は次のとおりです

就任することになりました。浅学非才の身ではございますが、責任の重さを痛感し身も心も引き締る思いであります。

議会は市民の多様な意見を代弁する合議機関。これまで以上に公平、公正、透明で開かれた議会となるよう誠心誠意努めてまいります。

今年は合併十年を迎える節目の年。市民から信頼され、丁寧な議会をめざし、重要課題である人口減少、少子高齢化対策に積極的な対応をしながら政策を提言し、過去に捉われず未来に向けた議論を深めていく覚悟です。どうか今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

議会選出監査委員

新しい議会選出の監査委員には菅沼明彦議員が選任されました。

総務常任委員会

委員長
副委員長

谷口 充希子
田中 清安
前川 文博
中嶋 国則
洞 和彦
内海 良郎
森下 真次
山下 博文
籠山 恵美子

産業常任委員会

委員長
副委員長

高原 邦子
後藤 正
野村 勝憲
福田 武彦
菅沼 明彦
天木 幸男
葛谷 寛徳
池田 寛一



菅沼 明彦 議員

広報広聴特別委員会

委員長
副委員長

葛谷寛徳 福田武彦 前川博文 中嶋国則 田口清安 洞和彦 野村勝憲 後藤正



議員定数等特別委員会

委員長
副委員長

後藤正 前川博文 中嶋国則 森下真次 高原邦子 谷口充希子 天木幸男 山下寛一 池田寛一



議会運営委員会

委員長
副委員長

森下真次 池田寛一 田中清安 高原邦子 谷口充希子 天木幸男 山下寛一



政治倫理審査会

会長
職務代理人

田中清安 池田寛一 前川博文 洞和彦 菅沼明彦 森下真次 谷口充希子 天木幸男 籠山恵美子



一部事務組合議員

飛騨農業共済事務組合

内海良郎 田中清安

古川国府給食センター利用組合

籠山恵美子 池田寛一 天木幸男 中嶋国則

各種委員

民生委員推薦会

葛谷寛徳 天木幸男

飛騨市青少年問題協議会
都市計画審議会
北アルプス遭難対策協議会

荒城川流域連携会議

内海良郎 菅沼明彦

洞和彦 野村勝憲 後藤正 菅沼明彦 高原邦子

内海良郎 葛谷寛徳

議会の傍聴にお越しください

6月定例会の予定

6月 6日 (木)	本会議 (開会、提案説明)	20日 (木)	常任委員会
17日 (月)	本会議 (一般質問 1日目)	21日 (金)	予算特別委員会
18日 (火)	本会議 (一般質問 2日目)	25日 (火)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)
19日 (水)	本会議 (一般質問 3日目)		

※日程は変更される場合があります。

平成 25 年度予算総額 276 億 6 千万円を可決 少子化対策と産業の活性化をめざす 平成 24 年度 3 月補正は 6 億 547 万円

平成二十五年第一回飛騨市議会定例会が、二月二十五日から三月二十一日まで開かれ、補正予算関係十二件、新年度当初予算関係十五件、条例の制定と一部改正二十二件、指定管理者の指定八件などを慎重に審議し、すべてを可決しました。新年度の重点施策は①人口減少、少子化対策②地域、組織、産業の活性化③シルバー世代の生きがいと自律の三点とし、実現に向けてスタートしました。

3月補正予算の主なもの

条例の一部改正と制定

- 財政調整基金積立金 四億六百七十七万円
- 神岡振興事務所空冷ヒートポンプ交換 二百八十万円
- 障がい児童所支援給付費の増額 二千三百十六万円
- 地域医療神通川プロジェクト追加分 三百五十六万円
- 新規就農者育成基金積立金 一億円
- 肉用繁殖雌牛導入基金繰出金 二千五百二十八万円
- 県営事業負担金、神岡農免中山間整備 二千二百万円
- 防災安全交付金（道路） 三千五十万円
- 防災安全交付金（橋梁） 一億五千五十万円
- 地域住環境交付金（江馬、河合、角川） 六千九百万円
- 職員の給与に関する条例 新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当を加える
- 国民健康保険条例 国民健康保険法施行令の改正に伴う改正
- 保健センター条例 神岡町保健センターが移転することに伴う改正
- コミュニティ施設条例 神岡町ふれあいセンターの新規設置と流葉の廃止
- 企業振興条例 総務省が設定する日本標準産業分類の改正に伴うもの
- 商工業振興資金利子補給条例を廃止する条例 市内の中小企業者等が有利に活用できる経営合理化資金利子補給金交付制度を新設したことに伴う廃止

- 農業支援協議会条例 飛騨市農業支援協議会の設置に伴うもの
- 新規就農者支援基金条例 新規就農者育成のために新たに設置する基金の財源として本基金の一部を充当
- 肉用繁殖雌牛導入基金条例 飼養促進を図るための導入基金を設置するための制定
- 地鶏育成施設条例の廃止 地鶏育成施設を普通財産へと転換することに伴う廃止
- 地鶏育成施設の無償貸付け これまで飛騨地鶏銘柄の拡大推進を図るため、支援してきたが、今後も継続した支援を行う必要性等から、無償貸付けを行うもの
- 高品質堆肥製造施設の無償貸付け 農業振興を図るため



放牧中の繁殖雌牛

指定管理者の指定

- 釜崎屋内ゲートボール場 神岡町ゲートボール協会
- 飛騨市文化交流センター 特定非営利法人ひだ文化村
- 飛騨市友雪館 (株)ねっとかわい
- 地域交流センター船津座 HIP 有限会社
- 香愛ローズガーデン (株)ねっとかわい
- 飛騨市林業総合センター 飛騨市森林組合
- 万波牧場 農事組合 飛騨かわい牧場
- 三之町まちづくりセンター 古川町第9区

人事案件の承認

- 飛騨市固定資産評価審査委員の選任 古川町 向川原 安彦 神岡町 榊田 実 宮川町 秋田 祥 飛騨市教育委員会委員の任命 古川町 田口 力三



保育料を第2子は半額、第3子は無料

農業支援センターを設立、新規就農者を応援

河合保育園を整備、三世代同居住宅改修に支援

平成二十五年度（新規事業のみ） 一般会計予算の主なもの

- LED防犯灯取替に補助金 五年間 三百万円
- 個人住宅の太陽光発電設置に補助金 百二十万円
- 三世代同居世帯の住宅改修に補助金 八百万円
- 先端科学学園都市構想策定事業委託料 三百万円
- ポッカコーポレーションとの食の協働事業 十二万円
- 合併十周年記念事業を展開 四百九十万円
- まつり会館運営に支援 五百五十万円
- 障がい者就業体験支援事業 四十万円
- 河合保育園整備事業 二億四千八百六十万円
- リサイクルセンター建設、設計委託 一千二百万円
- 南古城クリーンセンター解体工事 二億二千六百万円
- 農業支援センター運営経費 四百八十万円
- 後継者として就農する所得補償 二百五十万円
- 新規就農者施設整備補助金 五百万円

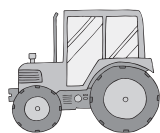
- 小規模基盤整備事業補助金 二百万円
- 水田作業受託支援交付金 五百万円
- こだわり農業応援事業費補助金 五十万円
- がんばる農業応援事業費補助金 二百万円
- 「おやま系」の子牛、導入保留補助金 百五十万円
- 後継者就農給付金 五十万円
- 認定農業者の施設整備補助金 百万円
- 万波牧場からの輸送補助金 百八十万円
- 広葉樹林の施業（笹ヶ洞、稲越） 百十万円



水田の春作業

- 薪、ペレット等の木質燃料器具購入補助 百万円
- 商店イメージアップリニューアル補助金 二百万円
- 市内の入浴施設利用者に抽選で特産品贈呈 二十万円
- 外国語通訳士委託事業 百十五万円
- 海外での観光展や商談会への参加費補助 百五十万円
- 古川市内屋外トイレ整備 五百八十万円
- 「飛騨びと」とつながる学び推進事業 六百九十万円
- 消防救急デジタル無線整備事業実施設計 五十万円
- 水槽付消防ポンプ自動車購入費 四千七百万円
- 防火水槽整備事業（太江） 七百万円
- スクールバス購入費 一千五百万円
- 教育研究所教科指導員廃置事業 百七十万円
- 小学校四年生まで三十五人学級編成 二百七十万円
- 数学の少人数指導に市の指導員を配置 四百三十万円
- 図書館で開催する事業に補助 九十八万円
- 県単独補助による土地改良事業 三千七百万円

- 神岡農免、中山間事業（古川、神岡） 一億九百万円
- 洞、数河線舗装。森安、万波線改良 三千二百万円
- 双六、瀬戸線他改良工事 二千万円
- 市単独の林道整備事業 七百万円
- 大型ロータリー除雪車購入 四千万円
- 市単独の道路新設、改良事業 一億百万円
- 県道改良事業に対する市負担金 一千五百万円
- 道路改良工事（上町線、大横丁線他） 七千五百万円
- 道路改良工事（木ノ本線、塩野線他） 一億二千万円
- 橋梁整備事業（古川、神岡、宮川、河合） 九千万円
- 急傾斜地対策事業（下野地区他） 二千二百九十万円
- 都市再生整備計画事業（堀川線他） 二億三千八百万円
- 克雪住宅等整備事業補助金 二千万円
- 小学校施設整備事業（古川西、神岡他） 四千七百万円



委員長報告

総務常任委員会

委員長 池田 寛一

「福祉事業者の安定運営とサービスの向上」

平成24年度は管内・管外視察を踏まえての調査研究のほか、議会基本条例に基づき、広報広聴委員会が主体となり各区長会等との意見交換会を行いました。その意見を基に、特に調査が必要な事項として、当委員会に対し議長から調査命令がありました。

特に飛騨市の特養への入所希望者数が3百人を超える現状の中で、社会福祉法人神東会による介護施設20床増床への支援については、福祉事業者の安定運営と福祉サービスの向上を図る観点から、飛騨市の大きな課題と位置づけ、政策提言に向けて調査を行い、その重要性や課題についての対応策等を検討いたしました。

市と特に密接な関係にある事業所、和光園・さくらの郷・しましまハウス・たんぽぽ苑

の四施設について委員を班別に分担し、それぞれの事業所へお伺いし、現場での聞き取り調査を実施し、議論を重ねて参りました。

内容としては、施設や土地の使用料の扱いについて、施設運営や経営状況の課題、地域とのかかわり方、補助金などによる市の協力体制などを重点として調査を行いました。各事業所や施設がそれぞれ個別の課題を抱えていることから、一つの提言という形での結論を得ることはできませんでした。



現状を説明する和光園職員

各事業所の皆様には大変お忙しい中、対応していただき誠にありがとうございます

た。

当委員会としては、新年度も引き続き調査検討を深めることが必要であるとのまとめとなりました。そして今回の調査で多くの課題が浮き彫りになったことから、この調査検討をした結果を、市の政策に生かしていただくよう提出をいたしました。

「人口減少と空き家対策」

本年2月19日に所管事業の一環として、株式会社 柳組さんをお招きし、「人口減少と空き家対策について」をテーマに、昨年柳組さんが実施された空き家調査結果の報告等を受けながら研修を行いました。

今、飛騨市は街中の空洞化、さらには高齢者のみの住宅の増加など、たいへん深刻な状況がさらに進んでいることを改めて感じました。議会も最重要課題として取り組んで参ります。



産業常任委員会

委員長 内海 良郎

◆はじめに

当委員会は今年度のテーマを、飛騨市の一番の課題である「人口の減少」の歯止めにつながるべく、「産業の振興と働く場の確保」としました。

そして、委員会活動は、市民の意見を市政に反映させ、強いては、政策提言に繋げるため、重点調査として、地元企業訪問、商工・観光団体との意見交換会、農業委員会との意見交換会、データセンターなどについての県内視察、TPPと農業・農村振興についての研修会など行いました。

◆管内視察 ◆県内視察

議会だより34号に掲載

◆商工・観光団体との意見交換会 ◆企業訪問

議会だより36号に掲載

◆管外視察

10月28日～30日にかけて、第10回全国和牛能力共進会の応援と視察、また大分県豊後高田市の昭和の町づくりを視察しました。

全国和牛能力共進会での成

績は残念な結果でしたが、5年後の大会と今後の飛騨牛の更なるブランド化の推進に向けて、関係者の皆様のご努力をお願いしたいと思います。



第10回全国和牛能力共進会

豊後高田市の昭和の町づくりは、平成4年に商工会議所が中心となり、中心市街地の個性を探し、数年かけて歴史調査を実施し、商店街が最も華やかで元気だった昭和を町の個性としてアピールすることとし、平成13年度から昭和の町づくりに着手されました。

キーワードとして、昭和の建築再生、昭和の歴史再生、昭和の商品再生、昭和の承認再生として掲げられ、平成14

年に中核的施設として、旧高田農業倉庫を「昭和ロマン蔵駄菓子屋の夢博物館」として開店し、ボンネットバスを走らせるなど取り組んでみえます。



幹線を走るボンネットバス

その結果、ほとんど観光客のいなかった商店街に、現在は年間約40万人の観光客が訪れるようになったということです。

運営主体として、平成17年に商工会議所、金融機関などが出資する第3セクター「豊後高田市観光まちづくり株式会社」を設立し、地域観光の振興に寄与する観光事業について、民間的手法を活用し展開されております。

全国各地で中心市街地の活性化や商店街の衰退が課題となっている中で、一つのモデルケースとして、その取り組みは参考となるものでした。

◆農業委員会との意見交換会

1月16日、農業委員のそれぞれの代表から、農業委員会の業務、飛騨市農業の現状と課題や女性農業委員の活動について説明をいただき、その中から意見交換を行いました。

課題として、農家数は減少にあり、意欲ある新規就農者の育成が必要であること。農業者の高齢化が急速に進み、農業労働力の不足が深刻になり、担い手の育成が必要であることや、耕作放棄地対策、鳥獣害対策についての他、水稻・トマト・ホウレンソウ・露地野菜・果樹・菌床しいたけ・肉用牛の部門からそれぞれの意見が述べられました。

◆議員研修会

2月5日に富山大学の酒井教授をお招きして、T P P 問題をきっかけとして今後の飛騨市の農政をどう進めていくかを目的として、開催いたしました。

講演では、T P P が抱える

問題点や「飛騨の農業が取るべき道は、地域に根差した新たなフードシステムの構築と豊かな自然環境や伝統、文化など地域のブランド力を高めつつ、消費者との繋がりを重視すべきである」と話されました。

◆結び

24年度、当委員会は24回開催しました。この中から、定住人口の増加を図るためには、企業誘致等による雇用の確保が不可欠であるとして、工場立地が可能な良好な工場団地を確保し、既存企業を含めた企業の事業展開を支援することが重要であるとの、工場団地についての政策提言を議長に報告しました。

そして、第1回政策討論会による議会としての取りまとめを経て、市長に政策提言が行われました。

議会改革特別委員会

委員長 森 下 真 次

昨年、第4回9月定例会において、「議員倫理について、及び議会活性化についての調査研究」を目的として議会改

革特別委員会が設置されました。

当特別委員会は10回の委員会を開催し、調査研究を行い、議員倫理に関しての必要性や他市の状況等を調査するとともに、どのような形態・内容とするかについて各会派及び各委員から案の提出を求めました。

最初に3案が出され、これについて検討を重ねました。出された意見を参考に再度案の提出を求めた結果、修正された2案が提出され、この2案についてさらに協議を重ねましたが、合意形成にはいたらず、当委員会といたしまして、継続協議とすることになりました。

しかし、議会運営委員会及び議長からの要請があり、3月14日、再度協議した結果、全会一致で飛騨市議会基本条例の一部改正、飛騨市議会議員政治倫理規範、及び飛騨市議会政治倫理審査会規程を決議することに決しました。

この政治倫理に関する案の特徴といたしましては、飛騨市議会基本条例第24条に定める議員の政治倫理について、

行為規範を定め、同条例第24条の次に2と3を加え、政治倫理審査会を設置することと定めました。この審査会は常に議会に設置するとともに、委員は議員の任期中、その任にあたることとしています。

また、申し立てについては議員の他、市民からも紹介議員を介してできるものとしています。

また、11月26日に開催された全員協議会において、議会政務活動費の交付について提案がなされ、これを受け、必要性、県内他市の状況等を調査し、検討を行いました。

その結果、議会基本条例の施行に伴い、議員としての調査活動範囲が広範になったこと等により、政務活動費が必要であると一致しました。

交付にあたっては、すべての支出に領収書等の証明書添付を義務づけるとともに、公開を原則とすること。

また、実績により交付される事後交付とすること、年額12万円を限度とすることなどが全会一致で決定しました。

以上で、議会改革特別委員会の報告を終わります。

二十五年度補正予算

予算特別委員会 Q&A

総務部

Q 予算が8・5%減である。類似市との比較はどうか。

A 大型事業が少なくなってきたための減少。他市との比較は特色が違うので不明。

Q 土砂災害の資料作成の委託と反映の時期は。

A 平成25年に委託実施。平成26年から反映する。

Q 市民税の市内企業の見込みは。

A 中小企業や会議所への聞き取りで減額予想。

Q 電力関係以外の一般企業も厳しい予想なのか。

A 全体の状況は回復基調とみている。

Q 合併10周年時に表彰など考えているか。

A 平成26年の表彰を前倒しで行いたい。

Q 補助金一覧を見るとほとんどが減額になっているが。

A 現状に合った見直しをしている。

Q 被災地への派遣や応援も研修になると思うがどう考えるか。

る。

A 平成24年に1ヶ月保健師を派遣した。今後もその時に考え結論を出す。

Q 自主防災組織で神岡町が組織率が低い。組織率はどれくらいか。今後の対応や指導は。

A 古川と河合は100%、宮川はかなりの地区。神岡は15地区中9地区。

Q 自主防災補助金の対象者は。

A 自治区などの単位。町内などの連合でも可能。

Q 庁舎修繕費で神岡振興事務所と宮川振興事務所の今後の方針は。

A 当面必要な費用である。神岡については耐震化と同時に他も検討中。

消防本部

Q 水槽付車両配備、車両の性能は。

A 神岡市街地の特性で少しコンパクトなものであるが、性能は最低限の機能を検討して配備している。

Q 水槽のタンク容量は、時間的にはどれくらい放水できるのか。

A 1500L、時間は5分。その間に別ルートを保する。

Q 防火水槽設置で地元負担金70万円であるが、大きさは。

A 地下式で水槽は40t。

Q 救急救命士は何名いるのか。

A 消防本部に24名。内薬剤が12名、挿管が6名。

Q 交通事故出動時に備品、車両は十分そろっているのか。

A 救急車と救助工作車を同時に出動させて対応している。

Q 自主防災組織との連携と指揮系統はどうなるのか。

A 火災現場では本部と団長で現場本部立上げ。本部は署で、団は団長から指示。

市民福祉部

Q いこいの家管理委託料があるが現在の状況と、今後

A 24年度は1日当たり10人の利用。B型事業所にして実績も伸びてきている。

Q グループホームに対しての補助金の内容は。

A 処遇改善と利用しやすくするための改善。

教育委員会

Q 育英基金の貸付人数と総額は。

A 貸付252名。総額3億2180万円。

Q 図書館の人員は。

A 司書6名。内神岡2名。事務員6名、内神岡1名。

Q スキーリフト券補助120万円、全員分を予算化してあるのか。

A 流葉337名、河合761名、合計1098名の実績から予算化

Q 高校生海外派遣、時期を変えとか期間延長とか考えているか。

A 4月以降に検討。生徒の声も聴いて時期をきめる。

Q 高校生海外派遣の人数内訳は。

A 5名は市内の高校から選抜する。残り3名は市内から市街に通っている人を対象。

Q 給食のアレルギー対応は。

A 申請に基づき除去食を準備している。

病院

Q 医師招聘事業に1200万円でコンサル委託とあるが実績などは。

A 確実なところに依頼して、1名は確保する。

Q 看護師の正職員、臨時職員の人数は。

A 正職員39名、臨時職員17名、助手11名。

企画商工観光部

Q インバウンド戦略とは何か。

A 海外から日本へ来る旅行者を誘致する意味である。

Q 観光誘客宣伝事業の着地型補助金の実績は。

A 19企画の応募があり、15事業が成立。小規模の誘客であったので35万円を旅行業者に補助した。

Q 国の補助事業で観光施策を実施したらどうか。

A 町づくり協議会の各部会の提言を待つて補正予算で実施したい。

Q 3世代同居世帯等支援事業補助金の内容は。

A 3世代で住んでいる方が住宅をリフォームしたり、三世代で住むために増築される方に補助するもの。

環境水道部

Q 可燃物焼却場が、1月から試験操業しているが、大気汚染やダイオキシンなどどのようにチェックしたか。

一般質問

問 今回の予算に、再生可能エネルギーへの取り組みとして、個人住宅の太陽光発電システム設置に対する補助金、また、木質燃料を使ったストーブ等の購入に対する補助金が計上しており、環境



池田 寛一 議員

問 再生可能エネルギーについて

答 低炭素社会の実現に向けて、積極的に事業展開

対策、経済効果、山林の活用等が期待されるところである。

一方、飛騨市の中山間地という地形や自然環境を考えた場合、市として小水力発電の検討をすべきと考えるが、本格的に調査をして取り組む考えはないか伺う。

◆市長

答 反原発の立場から、エネルギー調達の多様性

A 試運転中であるが、例えば正常に機械類が動くとか、燃焼温度が適切であるとか、灰の成分はどうか、排気はどうか、環境基準や施設基準を満たしているかを調整中である。

Q クリーンセンターの総事業費と財源内訳は。

A 総額15億8千6百22万円である。財源内訳は、国費3億8千6百51万円、合併特例債11億5百80万円（7割を交付税で還元）一般財源1億1千44万円。



新クリーンセンター

Q 焼却灰の委託先はどこか。

A 群馬県のウイズウエストジャパンと富山県の富山環境整備へ6ヶ月交代で処理をお願いしている。

農林部

Q かじか養殖の補助率は2分の1、とらふぐ養殖の補助率が3分の1である。観光資源として期待されるが2分の1にできないか。

A とらふぐ養殖については、3年間の継続補助であり、3分の1である。

Q 今後の「とも補償制度」の考え方は。

A 新年度に立ち上げる農業支援センター協議会の中で協議し対応したい。

Q 国の治山事業予算が増額している。積極的に進めるべきでは。

A 区長会等を通じながら、実施場所の掘り起こしを行ない、要望していく。

基盤整備部

Q 都市計画街路整備について、J A 古川支店から飛騨信

古川支店までの工事はいつ完成するか。完成したあとの整備構想はあるか。

A 26、27年度で歩道整備を終え完了となる。将来道路網構想において検討中であり、構想の中では、1本は、J Rを超える道路が必要と考える。

Q 消雪工事で宮城橋から察署までの計画はあるか。

A 上水道水源地の近くであり、水源地保全条例にひつかかり、工事は難しいと考える。



しているところであり、その声を参考に本事業が安定して継続できるよう改善に努めたい。

◆谷澤市民福祉部長

答 住民意見を聞きながら各種介護サービスだけでなく、ボランティア活動や互助・共助も含め、地域特性に合った仕組みづくりを進めたい。

問 有償運送事業ボニーカーシステムの課題について

答 安定運営できるよう改善に努める

問 足腰の弱いお年寄りにとって、ボニーカーは欠くことのできない存在となっている。河合・宮

録されているが、実質的に対応できるドライパーは、1人〜2人というのが現状である。

運転手の皆さんは、ボ

◆小倉総務部長

答 運転手不足と利用料金の見直しについては、利用者アンケートを実施



問 地方分権の流れに対しての市の考えは

答 確かな判断能力を持った職員を育成する



高原 邦子 議員

問 地方分権法から地方分権改革が進んでいる。国・県から権限移譲されるものが多くあるが事務を円滑に執行するための

問 大切な職員が亡くなったことへの思いは

答 悔しくて悲しくて残念でならない

問 組織は人で動いている。職員が欠けるということは市の損失である。職員の健康管理は、有給

休暇の取得状況はどのようなものなのか。
◆小倉総務部長
答 健康診断は全職員

問 防災教育でたくましい子に

答 避難訓練から命を守る訓練へ名称変更

問 教育現場でのスローガンに「思いやりがありたくましい子…」がある。たくましい子とは、どんな状況にあっても対処できる、生き抜く力を持つ

◆山本教育長
答 「知・徳・体の調和」

の見直し等、地方分権への市の考えは。

◆小倉総務部長

答 行政組織の見直しは考えていない。自治体が独自性を見出し、財政的にも自主自立し生き残りをかけ進んでいく。職員一人ひとりの能力に頼らざるをえない。状況と必要な対策を見抜く確かな判断能力を持った職員を育成し、強い市を作る。

が、個人的に人間ドック、オプション健診を行っている。有給休暇は平均5.5日を取得している。職員自身に課せられた健康保持義務と任命権者に課せられた健康配慮義務があり、労使関係に於いても良好な状態である。

を基本に人間関係形成力・問題解決力・忍耐力・向上心・判断力など総合的な人間力を持った子。「確かな学力をつける特色ある学校作り」「ふるさとを愛する豊かな心作り・健やかな体作り」

問 先端科学学園都市構想について

答 平成25年度中に基本構想を策定する



前川 文博 議員

問 ①学生などが飛騨市に住むための住宅環境に

ついて現状は②大沢野に比べて割高な神岡の住宅に補助金を出すなど手はないか、③学生数人でシェアハウスとして空き家を借りたい希望もあるが、学生では飛騨市の事

問 消費装置の今後の展開と除雪対応について

答 現在ある設備維持のため水源調査を行う

問 ①平成25年度予算の中に消費設備地下水調査とあるが、この地区で調査をして拡大を図るのか。②消費装置がある交差点で、除雪作業後に雪の塊が取残されているため、車で踏み固められてしまい高齢者では雪捨てができない状況になる。

情には明るくない。空き家対策にもなるし、市として応援することはできないか④懇話会の今後の方針と計画は。学生と市内の生徒が交流を持てる機会が作れないか。

◆沖村企画商工観光部長
答 ①需要に応え、居住していただくことは地域活性化が図られ重要で

す。アパート供給事業者と情報交換をおこなながら学生用の安価なアパートの供給可能性を検討する。

◆飯島基盤整備部長
答 ①新年度予算の調査地区は、古川町杉崎区と花もも区の井戸の調査で

パートの供給可能性を検討する。

②現在は月5万円を超える物件が主流である。賃貸補助の仕組みについて検討を進めていきたい。③空き家の有効活用も検討材料の一つである。需要を把握し対応が必要な場合は適宜対応していく。④昨年から2回開催している。今後は研究者だけでなく民間企業や市民の方も参加いただき、あるべき都市像のランドデザインを平成25年度中に策定する。

ある。水量が不足しているため井戸の洗浄、掘削による高深度化、井戸の移転などの方針を決めるための調査であり、拡大に向けたものではない。②現地を確認しており、除雪作業時は、可能な限り交差点内に雪の塊を残さないような作業を心がけるように指示を行った。③通学路などについては、情報をいただければ重点的に監視していきたい。

一般質問

問 地元企業への支援について

答 地元企業の訪問や出張の機会に、企業の状況や要望等を伺い絆を深めてきた



洞口 和彦 議員

問 飛騨市の最大課題人口減少に歯止めをかけ、飛躍する飛騨市を実現するための商工振興対策中心の地元企業への支援の取組みについて伺う。①

て、実状、要望の把握は。②どのような支援を行ったか。③雇用促進につなげた効果。④飛騨市の労働力をどのように把握しているのか。⑤平成25年度の支援対策は。

◆沖村企画商工観光部長

答 ①H20年に商工課を設置、企業の御用聞きとして会社訪問を実施させ状況を把握。②企業への

問 戸市山林購入に関する損害賠償請求事件の請求棄却について

答 判決内容には不満が残るものの、一審とはいえ、司法の判断が下された以上は、一つの答となったと考える

問 飛騨市が山林購入に関して、損害賠償を求めていた裁判の敗訴が確定した。判決内容を確認し、この裁判を統括する意味で質問します。①判決に対する考え方について②市長の控訴しない理由の中で、市が主張した事実に触れられていないことや誤認があるところがあるが、

◆市長

答 ①今でもこのような土地購入は許されるべきではないと考えております。②判決に触れられていないことは隣接地を購入した説明には理由がない点。誤認とは市で産業廃棄物最終処分

助成―助成金・奨励金・利子補給・融資。従業員への助成―奨励金・融資。その他―活性化補助金等。③緊急雇用安定助

成金により雇用の安定維持。就職ガイダンスの開催による雇用④市では調査していないため、ハローワーク高山発表で有効求人倍率は1.00倍⑤24年度同様に企業の安定経営・安定雇用が図られるよう融資、利子補給等を行う。



場の不同意の回答で処分問題が解決できたことが避けられている点等③訴訟費用は171万7500円。市長として市民の税金で不な土地を、評価額より高い価格で購入したことに対して、損害賠償を求めたことは当然のことと認めています。

問 第二次政策総点検の総括と新年度予算への反映は

答 市民会議の意見を踏まえ、農業者の支援や、外国人誘致のため観光面に助成して行く



福田 武彦 議員

問 ①第二次政策総点検の総括について

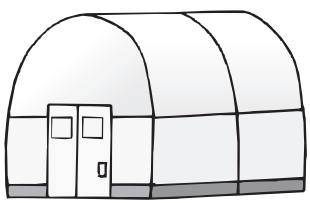
市長の総括の感想の中で第一次総点検は、「市民生活本位の財政への転換」を目的とし、その結果、市民生活重視型となったが、反面、自身の4年間の取組みは全てが正しいとは限らない、市民ニーズに合わせて改めべきは改め実施したとあります。今般まとめられた総点検から市民会議の意見を踏まえ効果のあった点、並びに反省点を伺う。

◆市長

答 ①産業の活性化のためコーディネートなど外部の人材登用を図る。市民会議委員の意見は子育て関連施策は他の自治体よりサービスが厚いと総括され、福祉と教育は成果があったと評価された。一方、商工業の振興と観光への取り組みは不十分であり反省すべき点がある。この意見を踏まえ、人口減少や産業

の活性化に地域交流コーナーの活用やネットショップの販路開拓に精通した人材の登用を図っていきたい。②「農業支援センター」を設置する。外国人誘致のため海外での出展などに補助する。③「農業支援センター」の設置は、新規就農者・後継者・定年帰農者等の農業経営の支援、技術のアドバイス、先進的な取組や農地集積の支援などを行う。定年後に生業として農業に取組まれるシルバー世代の方にも支援をして行く。

台湾・香港・中国など海外での観光展や旅行商談会に参加する企業に対し、出展料や旅費などの経費に補助をして行く。



問 企業訪問及び商工・観光団体との意見交換会より

答 活性化に向けて取組む



内海 良郎 議員

問

①企業の人材確保と雇用対策のため、市主催で就職ガイダンスの開催を。②資源の再認識と再発掘による交流人口の増大を。③先端宇宙科学研究所拠点整備などによる活性化を。④太陽光発電、並びに防犯灯のLED化への補助金の創設を。⑤既存商店活性化のための店舗リフォーム補助金の創設を。⑥古川・神岡間

の21時過ぎのバス便の新設と増発を。又、JR高山線の下り最終列車を猪谷行きに。⑦町並み景観保全のため、新たな景観計画・条例の制定を。

◆市長

答 ①高山市と共催で年3回実施しているが、今後、出店いただく企業と相談し検討する。②新たに外部人材を活用して「飛騨びとつながる学びプログラム推進事業」立ち上げるほか、蓄積データを整理しながら地域にある資源を連携させた着地型旅行商品の開発に力

問 農業支援センターの設立とその役割について

答 新規就農から既存農業者の皆農までを一貫サポートする

問

農業支援センターの内容や、具体的にはどのような様に行うのか。また、地域毎の現状と課題に合致した基本方針と実施計画の策定を執行された

い。

◆石腰農林部長

答 市庁舎農林部内に設置予定。付属機関として、「農業支援協議会」を設置する。具体的には、「後

を入れる。③25年度中に研究者の住環境整備を含めた基本構想を策定し、国等関係機関へ働きかけを。④太陽光発電システムに1kw当たり3万円、上限12万円の補助を行う。LED防犯灯への取替費用の3分の1、1灯当たり7千円を上限に補助する。⑤店舗改修費用及び広告宣伝費用について事業費の3分の1以内で、限度額百万円とし、3年間補助する。⑥地域交通についてバス会社に要望している。高山線強化促進同盟会要望の中で要望する。⑦25年度に事前調査を行い、26年度には意見を集約して検討する官民一体となった取り組みを行う。

継者就農給付金事業」の創設や「人・農地プラン」策定、農地の出し手・受け手に対する支援、小規模農地の区画拡大、農業受託支援、農機具等導入支援他。また、実情・課題を把握し、各地域に合った対策を支援する。

問 空き家対策としてホームページで紹介は

答 空き家バンクといった趣旨の登録に家主の申し出があれば情報提供したい



中嶋 国則 議員

問

市内の建設業者の調査によれば、2月現在746戸の空き家がある

ことが判明した。市は空き家活用をどのように考えているか。可児市がホームページを活用して空き家情報を紹介する事業を新年度から着手するが飛騨市でも実施できないか。

◆沖村企画商工観光部長

問 鷹狩・鮎ノ瀬保育園の跡地利用について

答 公園整備や企業誘致等を視野に検討する

問 長年にわたり地域の幼児施設の拠点として親しまれてきた、二つの保育園が今春の3月31日で閉園統合され、4月から

民営のさくら保育園として開園する。保育園の跡地利用として、地域密着の施設や公園の造成、または企業誘

問 民生・児童委員の自治功労者表彰基準を20年から引き下げてはどうか

答 他市と比較しても遜色ないと考えている

問 飛騨市の民生・児童委員の平成23年度の活動調査報告書によると、活動日数は1人平均94日、訪問回数が1人平均161回である。活動内

容は、ひとり暮らしの高齢者の見守りをはじめ、介護、健康、生活に関する相談だけでなく、さらには市役所や社会福祉協議会から依頼される職

答 高齢者単身世帯と高齢夫婦世帯の合計が平成22年10月時点で、1955世帯あり、いずれは空き家となる可能性があり、早急な対策に迫られている。個人情報観点から管理状況や活用の考えの有無を聞き出すことは難しいが、空き家バンクといった趣旨の登録に家主の申し出があればホームページで情報提供したい。

致が考えられないか。

◆谷澤市民福祉部長

答 跡地利用については、現時点では使途・用途を定めていない。地域のご意見を伺い、園舎を取り壊し、公園整備や企業誘致等を視野に検討する。

務が多くなっている。

仕事量も多く無報酬で活躍されることに対して、その労苦に報いるためにも、自治功労者表彰の基準を20年から引き下げる考えはないか。

◆谷澤市民福祉部長

答 他市と比較しても遜色なく、表彰基準の引き下げは考えていない。

問 第2次総合計画の進捗管理と後期計画について

答 政策総点検を行う中でステップアップしてきたアンケートを行って次の計画に反映させて行く



田中 清安 議員

問 第2次総合計画は、「市民が安心して暮らせるまちづくり」を目標に、平成26年までの5か年を前期計画、平成27年から5か年を後期計画としている。そこで①後期計

画への円滑な移行を図るためにはどのように対応されるのか。②総合計画及び個別計画の進捗管理はどうなっているのか。③また、その結果を市民に示すべきと考えるのいか。

◆市長

答 ①政策総点検を行う中でステップアップし、政策方針を「人口減少・

問 山崎排水路の治水対策について

答 河川断面を確保し、時間38ミリの降雨量に耐える改良を行った

問 山崎排水路の流域に

ついては、飛騨市の発展を考えた場合、総合的な治水対策が不可欠と考える。そこで①流域の土地利用をどのように考えているのか。②山崎排水路の排水対策にはJRの鉄橋がネックになると思うがJRとの協議はどのようになっているのか。③総合的な治水対策ができ

るまでの間、どのように対応するのか。

◆飯島基盤整備部長

◆石腰農林部長

答 ①現在は都市計画法の用途地域拡大は考えていない。将来開発の必要性が生ずる場合は、調整池等の治水対策が必要と考える。②今回の改修は、河川断面を確保し、時間38ミリ程度の降雨による

少子化対策「地域・組織・産業の活性化」「シルバー世代の生きがいと自律」と定め、拡充、改善、見直しを行ってきた。これを踏まえ、市民アンケート等を実施し、後期計画に反映させたい。②全413事業の進捗管理を行う中で事業評価を行って次年度予算へ反映してきた。③政策総点検で検討した83事業については市のホームページで公表する。また、それ以外の330事業については担当窓口で公開する。

浸水被害を解消するものである。鉄道部分は浸水被害の直接原因とはなっていない。よってJRとの協議は行っていない。③優良農地の確保と有効利用を図る観点から、法を遵守し適正に対応したい。

◆市長

答 山崎排水路の排水対策は、県で太江川の改修を検討されているので、県と連携し検討する。

問 この地の自然を生かし、新しい観光ルート開発について

答 認定に挑戦する前に、まず関係分野からの情報収集に努める



野村 勝憲 議員

問 山之内村にコーンスープ工場を誘致し地域ブランドとして売り出したい

答 課題を整理しながら実現可能かどうか判断していきたい

問 山之内村はテレビの影響で知名度が高い。雇用と地域ブランド育成のため、地元産トウモロコシを活用したコーンスープ工場を誘致しませんか。

問 昨春秋、閉鎖した(株)アーク神岡工場の対応と跡地利用について

答 (株)アークと連携を取りつつ、今後の動向に対応していきたい

問 就職未決定者2名の斡旋状況は？跡地は2次3次の下請け工場ではな

く、夕張市の様に地域ブランドの製造に絞った誘致が一番と考えるが。

問 データセンターとメガソーラー（大規模太陽光発電施設）をセットでの企業誘致を！

答 東日本大震災の教訓からデータセンターの地方分散に国も支援

問 私はこの1年各地を

訪れ、飛騨の特性を生かした事業はデータセンターとメガソーラーと確信。市

のイメージアップのため誘致すべきと考える。

◆市長

答 データセンターにつ

の認定を得ませんか。

◆沖村企画商工観光部長

答 森林セラピー基地等の認定を得るにはハードルの高い問題で、まず森林インストラクターや観光・林業関係者からの意見集約から始めます。

◆沖村企画商工観光部長

答 指摘のとおり、山之内村は自然に恵まれ、食品産業のイメージと合致する。しかしトウモロコシの増産や輸送・コスト面の課題が多いのが現状。

◆沖村企画商工観光部長

答 1名再就職が未定で、市としても対応したい。指摘のように地域ブランドをつくり出す企業の誘致が望ましいが、今後、十分調査のうえ対応。

いては、総務省との連絡を密にし、当地における立地の優位性等と市の企業立地促進条例と合わせ情報提供していく。メガソーラーについては、いくつか照会があったが適地での広大な敷地が確保できないのが現実である。

問 経済的弱者に福祉灯油券の発行を

答 値上り幅・時期等を考慮し、今のところ考えていない



籠山恵美子 議員

問 飛騨北部の当市は依然として厳しい寒さが続く。かつて市は福祉灯油

券を発行していたいへん喜ばれた。その灯油、当時より今の方がずっと割高である。今年来る冬を見越し、ぜひ福祉灯油券の発行で経済的弱者の生活をまもっていただきたい。

問 市産材を使用した住宅建築に助成を

答 規格を満たす必要があることから十分な検討が必要

問 県の「岐阜の木で家造り支援事業」は条件のハードルが高く、活用しにくいのが現状。建築業者もお客になかなか勧めていく制度だという。

飛騨市の市産材を活用

し林業振興を図ることは大事である。そのためには、高山市のように市産材を使用した住宅建築に飛騨市独自の補助制度をもつけ、林業の内需拡大を促進すべきである。

問 飛騨市の顧問弁護士の解任を求める

答 更新するかどうか、まだ決めていない

問 この間飛騨市では、3件の裁判いずれも敗訴である。判決の中身には大きな疑義があり市の代理弁護士についても、そ

の倫理規定上非常に問題がある。市は顧問弁護士を解任して、行政訴訟に長けた弁護士の起用で、起こし太鼓裁判こそ控訴

◆谷澤市民福祉部長

答 緊急福祉灯油券は、

20円／リットル以上急騰する中平成19年に国の緊急対策支援を受け、全国的に実施された。

現在灯油価格推移をみると最安値の11月より13円／リットルほど値上がりしているがピーク感がありまもなく春を迎えるので今のところ考えていない。

◆石腰農林部長

答 補助対象となる木材は規格を満たす必要がある

り、基準に適合する製品を管理できる乾燥施設と乾燥技術者を有する製材所は市内で一カ所のみである。また認定工場の登録も事業者で検討され見送られており、この補助事業創設には十分な検討が必要と判断している。

◆市長

すべきである。

答 法律顧問契約を更新するかどうか、まだ決めていない。また起し太鼓会館問題の控訴については回答を差し控える。

問 飛騨市民病院の診療体制は

答 医師派遣、県へ要望し体制の強化



山下 博文 議員

問 高齢化が一段と進む中、地域医療の充実が益々求められている。飛騨市

の高齢化率が34%で県下では4番目に位置づけられている。こういう状況下で地域医療をどう守るか、どう充実させるか、慢性的な医師不足の問題を抱える市民病院の新年度診療体制は。

問 山之村地域に未満児保育の開設を

答 課題は多いが前向きに検討する

問 山之村に移住された方が一歳半の子どもを抱え育児に大変困っておりれる。その他にも1歳、3歳のお子さんを抱える人達は、未満児保育の開

設を熱望されている。是非ともこの地域に未満児保育を開設されたい。

◆谷澤市民福祉部長

答 3歳以上児と未満児を同室で保育することは

問 農業支援事業の効果と射撃場建設

答 農業支援センターを設立し取り組む

問 飛騨市の農業の最大の課題は耕作放棄地が増え、後継者・担い手の不足である。専業農家の後継者づくり、多様な担い

手の実績と射撃場建設に

◆石腰農林部長

答 3ヶ年で新規就農者は6名、平成25年度は4名の見込み。就農者は農業関係の学校を卒業した

◆川上病院管理室長

答 新年度の常勤医師は

今時点で確定しているのは、院長、内科医長、県派遣医師の3人です。現在富山大学付属病院から1人を派遣されているが、新年度は確定していない。同病院に派遣の継続を強く要望するなど、常勤医師の確保に向けてあらゆる手段を講じていきたい。

適切でなく、学校では未満児保育室の余裕教室がないことや、給食は学校で一括調理しているが未満児給食への対応が難しく、トイレや沐浴施設等の設備面での配慮など課題が多い。2歳児限定の未満児保育から実施できないか検討する。

人や全く新規で就農する人など様々だが、その多くは指導者のもとで1、2年間の農業研修を行い就農する。支援センターで農業を支援していく。射撃場は平成27年度に飛騨地域に建設予定。

議案第11号

飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

反対討論

籠山 恵美子

この改正は、これまですでに施行されている低所得者への2・5・7割負担軽減措置を、負担軽減することができるとの改正である。

しかし問題は、その財源を、その他の加入者の保険料に求めることである。

当局の説明でも、軽減率を1割上げればその分は他の加入者が1世帯あたり5千円強を負担することになる。

負担軽減のための財源は本来、市や国が責任を持つべきで、このような加入者同志で首を絞めあうような制度改正には賛成できない。

議案第61号

平成25年度飛騨市一般会計予算

反対討論

籠山 恵美子

新年度事業の中には、市民要望が実現したものもいくつかあり、個々には評価できる。

一方、とくに福祉行政に疑問を感じる。予算の組み方には、審査の中で他議員からもいくつも指摘や批判があった。

市の予算はため込みの傾向が強い。もともと抜本的な行財政改革をしなければ市民生活を守る市政は実現しない。

また市はとくに、保育士、司書、調理員など専門職にもかかわらず女性の職場は5年の雇い止めが多い。これらをあらため、ため込みすぎの基金と財政を見直すべきである。

賛成討論

谷口 充希子

平成25年度予算は、政策総点検での市民の声を着実に反映させたもので、政策見直しと中味充実の予算編成がなされました。人口減少、少子化対策、地域、組織、産業の活性化。シルバー世代の生きがいと自律、加えて障害者雇用の理解と推進や市民病院の医

師不足確保等きめこまかいソフト事業が計画されています。本年は合併10周年の節目として記念式典や行事ももりこまれています。市民が安心して暮らせる町実現に向けた、身の丈にあった予算編成であることを認め賛成討論とします。

議案第73号

平成25年度飛騨市給食費特別会計予算

反対討論

籠山 恵美子

飛騨市の学校給食は住む地域によって給食費に格差がある。給食費は特別会計で統一しているのだから、その費用は安いほうに合わせ保護者負担を減らすべきである。

市はこれまで、水道料金など合併を理由に均一化を強行してきたのに、子どもの給食費の格差には知らんぷりである。市内どこに住んでも同じサービスを受けることは、子どもにとっても当然のこと。

少子化を懸念するならば、このような格差を解消することは行政の責務であり、この議案には反対する。

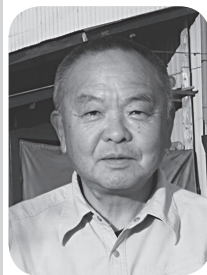
3月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議案名等	議員名	前川 文博	中嶋 国則	田中 清安	洞口 和彦	野村 勝憲	後藤 和正	福田 武彦	菅沼 明彦	内海 良郎	森下 真次	高原 邦子	谷口 充希子	天木 幸男	葛谷 寛徳	山下 博文	池田 寛一	籠山 恵美子
議案第11号 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第61号 平成25年度飛騨市一般会計予算	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第73号 平成25年度飛騨市給食費特別会計予算	原案可決	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※○は賛成、×は反対

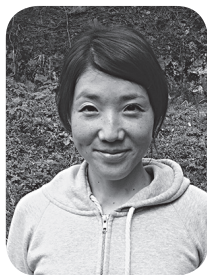
※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。



吉野 秀実さん

望郷

春の訪れと共に飛騨各地で例祭が催行される季節となりました。又新社会人が夢と希望を持ってスタートする季節でもあります。市内の企業でも多くの若者が第一步を踏み出しました。しかし多くの若者が故郷を離れ旅出って行った事も事実です。飛騨市の人



松永さやかさん

驚きの「コケ」文化？

宮川町に夫婦で移り住んで今年の四月で三年が経ちました。こちらに來た当初は迫る山峡や透き通る豊かな川に驚く毎日でしたが、ある日ご近所の方からの「コケ食うか？コケ飯にするとうまいぞ」という言葉にはもって驚かされました。

口減少は年々深刻になっていきますが、大きな産業の無い飛騨ではやむを得ない事なのでしょうか？しかし逆にＵターンしたい若者がいることも事実です。Ｕターンインターン者に対して色々な対策はある様ですが一番の問題は再就職先です。市と企業がもっとコラボし、安心して飛騨市へ帰れる様な策は無いものでしょうか。

古川町 吉野 秀実

市民の声

「コケ」が「キノコ」を意味する方言だと知らなかった私は「コケ」を岩に生える緑の苔だと思い、「宮川の人はちが苔を食べる習慣があるのか、しかもお米と一緒に炊くなんてすごい食文化だな」と勘違いしていました。

今ではその話も笑い話になり、私達夫婦も地元で採れた香り高い「コケ」を楽しんでいます。

宮川町 松永さやか



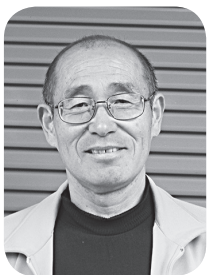
みかん狩り

ひとから人へのつながり

昨年も河合、宮川小学校四年生が海津市南濃町でみかん狩りを体験。みかんをほうばりながら「家族へのおみやげ」と、袋一杯にみかんをちぎる様子は微笑ましい光景でした。

河合村時代に縁あつて始まった南濃町との交流ですが、今年は17年目を迎えました。まだ、細いパイプでのつながりですが、もって太いものになったらいいと思います。飛騨市の多くの子ども達にみかん狩りの体験をしてもらい、海津市の子ども達には、ぜひ、飛騨の自然や雪に触れてほしいと思います。このような事をきっかけに、交流人口が増え地域の元気が繋がってほしいと願っています。

河合町 田口 理子



林 健吉さん

「北飛騨の森」ガイド研修

2年前、飛騨市観光協会で開催された「北飛騨の森」ガイド養成講座に応募いたしました。飛騨市民でありながら深洞、池ヶ原、天生の3湿原は言うに及ばず、大白川、小

白木にも足を踏み入れた事はありませんでした。そのいずれにも現地研修が企画されており、他所からの観光客の気分で申し込んだのでした。著名で重厚な講師陣ということもありましたが、いづれの現地からも、感動をして帰って来ることとなりました。そして、そこに住んでいる市民なんだと気づいて、大いに誇りを持つ事となったのです。論より証拠、3湿原などへとにかく行ってみましょう。

神岡町 林 健吉

編集後記

アベノミクス(大胆な金融政策・大型補正予算の財政政策・民間投資を喚起する成長戦略)が叫ばれている今日この頃である。男性の場合、年収3百万円を境に結婚意欲が大きく変わるそうである。結婚・出産のハードルを越える原動力は、景気の回復と雇用の創出である。国の衰亡に直結する少子化を食い止めるあらゆる「仕掛け」に待ったなしである。市が進める三世代同居の住宅の新築・購入・増築補助金が一助となり、人口増に繋がればと願う。ボストンマラソンのテロ事件には、ショックを受けた。マラソン大国と言われる日本も警戒対策がされるようだ。最近日本各地で起きる地震、他人事ではない。「備えあれば憂いなし」である。米・味噌・非常食の保存や、地震に遭遇した時の対応・危険回避について、今一度点検と話し合う場を各家庭で持っていたければと思う。

(中嶋 国則)